

「心に花 人に愛 奉仕によるこびを」

会長 佐藤 佳朗



THE WEEKLY REPORT
2010~2011

TAKIKAWA ROTARY CLUB

本日は 第2713回 例会
プログラム
次年度委員会
No. 2558 4月14日(木)

次週以降の予定

4月21日(木) 昨今の日本モーグルスキー界について
4月28日(木) 警察署長のお仕事
5月5日(木) 休 会(法定休日)

第2712回 例会報告

2011年 4月7日(木)

会長挨拶・報告



先般、地区の方に送金しました義援金についてですが、地区内45クラブより合計12,555,065円が集まり、3月31日にガバナー会(上野操議長)の指定口座に送金をしたと地区から報告がありました。被災地の状況から復興にはかなりの時間を要すると思われるので、地区では改めて中長期的に義援金を募るために特設委員会を設けました。新設委員会の名称は「RID2510大震災救援奉仕プロジェクト委員会」で、委員長は阪崎健治朗社会奉仕委員長、副委員長は堀江和美IC委員長(砂川RC)、柳孝一 新世代委員長です。本年度と次年度合わせて1,000万円を集めるのを目標としています。これからも皆様のご協力をお願いします。

石川遼君が1バーディにつき10万円を寄付するという話がありますが、私はゴルフでバーディを取ったら2,000円を義援金にしたいと思います。年間5個くらいは取れますので1万円にはなると思います。皆さんも個々で考えてやってもらおうと助かります。

幹事報告



1. 深川RCより会報・4月プログラム届く。
2. たきかわ音楽祭実行委員会より「風がみつけた街」コスモス・プラタナスコンサート共通チケット購入の依頼がありました。1枚1,000円となっております。各テーブルに袋を廻しますので、是非ご協力をお願い致します。購入された方は、袋にお名前をご記入のうえ代金を入れ、チケットとパンフレットをお取り下さい。
3. 本日、午後6時30分より第16回定例理事会を開催致します。役員・理事の方はご出席をお願い致します。
4. 先々週、ご案内しました赤平RCIM・創立50周年式典の登録の件ですが、締切が迫っておりますので、本日中に必ず返事を提出

して下さい。

5. 本日からの座席は、職業分類です。

4月の祝福

委員会報告

親睦委員会 渡辺 浩司副委員長

4月21日(木) 午後6時からバー・ブラジルにて木曜フォーラムを行います。講師は高山訓正会長エレクトです。本年度最後の木曜フォーラムですので、多数の出席をお願いいたします。

次年度会長報告

次年度会長報告 高山 訓正会長エレクト
宮崎英彰副幹事が葬儀出席のため欠席しておりますので、私の方からご連絡を申し上げます。次週、4月14日(木)は次年度委員会例会ですので、各委員会の委員長さんは欠席なさらないようお願いを申し上げます。

ロータリーの友誌紹介

ロータリーの友委員会 鷲尾昌法副委員長より紹介がありました。

先週のプログラム

【ロータリーの友委員会担当例会】

ゲスト卓話



明円 直志委員長挨拶

本日の講師の八木雄一郎氏は宮城県南三陸町と非常に深い関わりがありまして、被災者の集団避難の情報が沢山入ってまいりました。当初のプログラムを多少変更して、まず最初に「被災者の集団避難について」、その後に「リサイクル分野におけるCO2削減効果」についてお話をさせて頂きます。何しろ東日本大震災では2,600万トンの瓦、23年分の建設廃材ということとなります。それをどう処理するのかと

ということの問題を含めて話をして頂きます。

八木さんは昭和51年、埼玉県に生まれまして、平成11年、東京工業大学卒、同年、私の明円工業に入社をいたしまして、苫小牧のプラスチックリサイクル工場の設立に関わってまいりました。現在も役員として残っていただいておりますが、本人は平成19年に(株)エコデリックという会社を横浜に設立しまして、その社長をやりながらプラスチックマテリアル推進協議会、我々のような企業で作っている団体なのですが、その事務局長をしております。環境省のリサイクル小委員会など政府の諮問会議にもしょっちゅう呼ばれております。今日は2本立ての話になります。

「被災者の集団避難について」

「ゴミ処理分野におけるCO₂削減効果」



プラスチックマテリアル
推進協議会 事務局長
(株)エコデリック代表取締役

八木 雄一郎様

私と一緒に仕事をしている同僚の実家が宮城県の南三陸町で、親戚の方が町役場に努めていて住民の方を如何に避難させるかを考えています。住民は地元に残ってほしい、仮に移動するにしてもバラバラでは嫌で集団で避難したいというのを望んでいる。

町外への避難のアンケートを取ったところ、1,400人程度にとどまったが、集落ごとの結びつきが強く、町を捨てて逃げることに心理等が複雑に絡んでいる結果だと思われる。実際には完成まで半年もかかる仮設住宅を待つ間や仮設住宅完成後の復興までの期間における疲労や負担を考えると県内外への集団避難はかなり現実的な策だと思われる。

東日本大震災では瓦の総量が2,600万トンと見積もられている。仮に半数の1,300万トンが可燃物として、これを焼却すれば日本のCO₂総排出量が3%増加してしまう。単純焼却やゴミ発電の効果は悪く、CO₂削減効果は小さい。炭酸ガス削減効果からいうと全部を埋め立てるのが一番である。しかし用地確保が厳しいのでRPF (Refuse Paper & Plastic Fuel) (古紙及びプラスチックを原料とした高カロリーの固形燃料)にもっていくのが良い。瓦からRPFを作るには瓦から可燃物を選別しなくてはならない。国が被災者の臨

時の雇用に利用してもらえれば一石二鳥である。



宮城県南三陸町 人口17,431人(H22年)



大津波による壊滅的な被害状況

エコニコBOX

佐藤 佳朗会員

47回例会中、今日で38回目何とかクリアしました。残り9回の例会も頑張ります。

柳 清二会員

結婚記念日にお花を頂いて、ありがとうございました。

明円 直志会員

担当例会を無事終了しました。

会長／佐藤 佳朗
幹事／西村 恒則
編集／クラブ会報委員会

電子メール info@rotary.gr.jp
ホームページ http://www.rotary.gr.jp/

例会日●毎週木曜日 PM0:30

例会場●ホテルスエヒロ

事務局●ホテルスエヒロ 7F

〒073-0032 滝川市明神町2丁目2-16

TEL(0125)22-3344

FAX(0125)24-2755



クラブ会報は再生紙を使用しています。